

な～に谷っ戸ん田 3年目の20回目
掛け干し稲の脱穀・籾摺り等

<と き> 平成21年9月26日(土) 9:30~17:00頃

<と ころ> 谷っ戸ん田

<天 気> 晴

<参加者> 麻場、大野(午前)、池田、磯(午前)、加藤、久保、佐々木母子、高田(夫)、高見(午前)
松本夫婦、百崎一家、吉田(午後) 合計16名(内、子ども2名)+園主
(テツさん)

<内 容>

午前 掛け干し稲の脱穀

- ・掛け干し稲に張り巡らしていた鳥除け用の糸を巻き取り、支柱の回収。
- ・脱穀機2台での脱穀。平行して稲藁の結束作業。
- ・籾摺り開始。

昼前に脱穀終了。籾摺りを開始し、暫くして昼食時間となる。

午前中の休憩時間に百崎さんから相撲チョコレート、松本妻よりブルーベリーパイ・佐々木優ちゃんよりミルクキーの差し入れあり。

昼休み 各自、昼食と休憩。

加藤先生より葡萄(ピオーネ・甲斐路・ロザリオ)の差し入れあり。

昼休みにテツさんの許しを得て、栗拾いを行なう。(5個/一人の収穫あり)

午後

- ・午前からの継続作業で、籾摺りと稲藁の結束。
- ・組み立てポニー1列(棒5本×2段・ビニールハウス側)の解体撤去。残り2列は大豆干し用に使用予定のため残す。
- ・上記完了後、玄米の山分け作業開始。

籾摺り前の状態: 麻袋に15袋(28.5kg/袋平均)+2/3袋(17kg/袋)

籾摺り後の状態「玄米」: 米袋に12袋(28.4kg/袋)

その他

午後の休憩時間には、加藤先生より甲州土産の「月の雫」(マスカットを砂糖でコーティングしたもの)の差し入れあり。

今年のお米の出来は前年並み? 旧赤米田の分も入れると前年よりも出来は悪いのでは?(前年は白米だけで27kg/1区画)

しかし毎年感じますが、収穫の喜び(分け前を手にした時の喜び)は格別。量では計れない何かを得られた気がしました。

次 回 10月3日(土)9:30~ 赤米田の稈取り他の予定

(記録: 松本純)